



【横浜国際協力センターにて小学校の児童がクイズに答える様子】

ヨコハマの国際事業の  
主な動きをお届けする

# YOKOHAMA INTERNATIONAL DIGEST

平成 30 年 12 月 5 日  
【発行】横浜市国際局政策総務課  
企画担当 045-671-4710  
ki-somu@city.yokohama.jp

## 国際協力センターに市内小学生が 訪問し、国際機関の活動等について学びました

横浜市国際交流協会（YOKE）主催によるイベント「たずねよう！横浜国際協力センター」が9月～10月にかけて計8日間開催され、市内小学校19校、約1,700人の小学生が横浜国際協力センターを訪れました。飢餓撲滅に取り組む国連食糧農業機関（FAO）駐日連絡事務所や熱帯木材の保全や活用を推進する国際熱帯木材機関（ITTO）等国際協力センターにある国際機関等へ訪問する他、学習冊子を使ったクイズなどを実施しました。



また、期間中、横浜市の国際機関の支援や海外の都市との連携、国際協力事業等を通じて国際平和に貢献している取組についても、パネル展示で紹介しました。



## 国際機関とサカタのタネが高校生に アフリカを語る

10月23日、都筑区内の中央大附属横浜高校の1年生320名を対象に「都筑国際教室～食糧事情でアフリカを知る！」が開講されました。都筑区では来年の「第7回アフリカ開発会議」に向け、区民がアフリカを身近に感じ、アフリカを学ぶ機会を創出する取組を推進しています。



当日は市内に駐日連絡事務所がある国連食糧農業機関（FAO）と都筑区に本社のある株式会社サカタのタネが登壇しました。アフリカの穀物供給が海外からの輸入に頼っている実情や、アフリカ産の野菜が欧州へ輸出されていることなどが紹介されました。

都筑国際教室への参加を通じて、高校生はアフリカの食料供給の課題や日本企業のアフリカへの貢献活動などへの理解を深め、日本から遠く離れたアフリカへと思いを馳せました。

## 「大地の詩」チャリティーコンサート 2018 “Food for All” が 開催されました

10月23日、戸塚区にてチャリティーコンサートが開催されました。このコンサートは世界の食料不足の現状を多くの人々に理解してもらい、市民社会の支援の輪を広げていくことを目的としており、収益金は、市内に駐日連絡事務所がある国際連合食糧農業機関（FAO）に寄付されます。コンサートはピアニストの西本梨江さん、打楽器奏者の神田佳子さん、特別ゲストに尺八演奏家の藤原道山さんを迎え、今回で17回目の開催となりました。



会場にはFAOの紹介パネルや募金箱が設定され、来場の皆様にはコンサートの素敵な演奏とともに世界の食料問題に関する理解を深めていただきました。

